

氏名	F・R
専修	国際開発農学専修
学年	学部3年生
渡航先	ベトナム
期間	2023/2/12～2023/2/19
内容	<p>現地で実際に農業技術が使われている場所を見学したり、農家さんたちの組合の様子を見たりすることができました。途上国に行くのは初めてだったので、カルチャーショックを受けるとともに、自分が今後研究していくうえでどんな地域でどんな人にその技術を使ってもらえるのか知っておくことは非常に大切だと感じました。米とエビ養殖を組み合わせた農業をしている所で、政府は環境にやさしい方法を提案しているが農家は利益率重視の方法を好む、という話が印象的でした。研究者がよいものを作ったとしても、農家さんは自分にとっての利益とならなければ使わない、使えないということを実感しました。見学した農家さんの世帯年収は100万円くらいだったので、研究者が考えるような社会全体にとっての利益を考えている余裕は農家さんにはないのだと気づきました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>(写真左) 子牛を育てて中国に輸出しているハブ酪農家を見学したところ。発酵させたトウモロコシの皮を食べている。現地の伝統的な牛を様々なウシを掛け合わせて、肉質を向上させるための研究が行われていた。</p> <p>(写真右) 稲作とエビ養殖を組み合わせた農業を見学した。病気のリスクも少なく、環境にも優しい農法であるが、農家さんたちはより利益が得られるようにエビ養殖のみに集中する動きがあるそうだ。</p>